

IV-31 振動式杭打工法とその問題点について

東北大学工学部 正員

原 田 千 三

最近種々な杭打機が考案され、杭打工法に於ける進展が期待されている。

ここに述べる振動式杭打工法も、我が国において種々の問題を提起し、解決されるものが分野を隔ててゆくものと思われる。

種々の問題とは：

1) 振動式杭打工法の発展は、従来の基礎工に重大な変革をもたらさないであらうか。すなわち、この工法により造じた基礎工は従来のものに対して半分以上の価格でしかも迅速にできると言うデータを出している国がある。果たそうであらうが、検討する必要があろう。

2) 振動式杭打機によつて打込んだ杭の反力力は如何。実際問題として関心の所なれることである。

3) 振動式杭打機と云ふことも、その構造よりその使用目的の上から、など多岐多様に分類される。どのような杭型の杭をどの程度の土質で打込むに最も適した杭打機と如何。

4) 杭打機そのものについての問題点、例えば、その施工にあつて、速打、打込、キヤッパ、掘削、ジェットなどやまた水上施工の場合など問題も生じよう。

以上の諸点について述べる積りである。